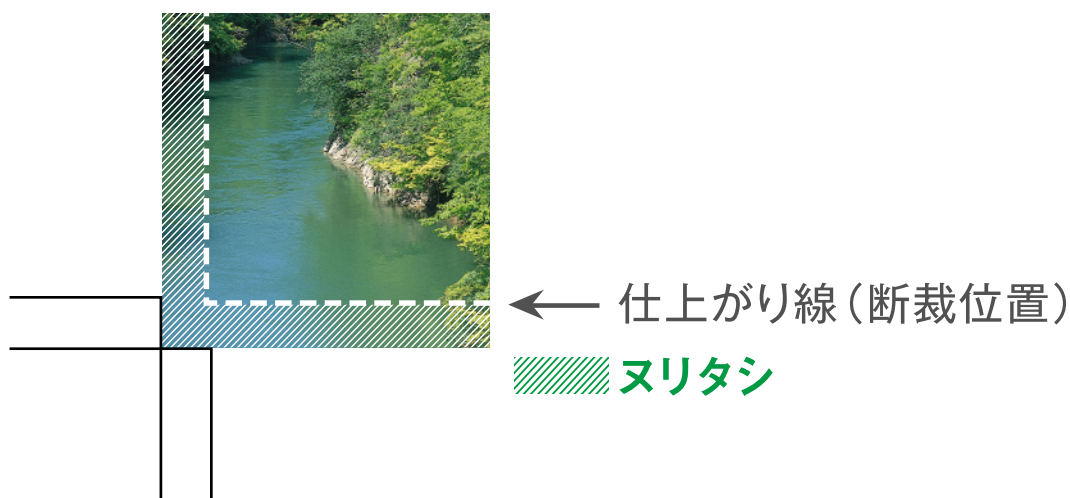


データ作成の注意事項 [Illustrator 編]

- ❗ 基本的に完全データ (オフセット印刷に最適化されたデータ) でのご入稿をお願いします。必ず仕上がり見本 (JPG 画像) もお付けください。

トンボとヌリタシの作成

- トンボ(トリムマーク)付きのテンプレートを、弊社ホームページよりダウンロードしてデータ作成してください。
- 画像・線・図形など仕上がり線にかかるものは全て延ばす・拡大などしてヌリタシを上下左右3mmずつつけてください。
※断裁時のズレにより紙の地色が出るのを防ぐためですので必ず作成してください。



フォント(テキスト)のアウトライン作成

- 文字化けの発生を防ぐために、フォントは以下の手順で全てアウトライン化してください。

「選択」メニュー→すべてを選択→「書式」メニュー→アウトラインを作成

※アウトライン化する前にロックをすべて解除してください。

※「選択」メニュー→フォント検索で書体名が表示されないことをご確認ください。

※Photoshopでデータを作成・入稿する場合は、フォントのアウトライン作成は必要ありませんが必ず画像(レイヤー)を統合してください。

適切な罫線の作成

- 「線幅がゼロ(空欄)」のライン(罫線)をヘアラインと呼びます。画面やプリンタでは、線として表現されますが、印刷時には、かすれたり消えてしまったりします。罫線には必ず線幅(「0.3pt以上」)を設定してください。

画像の配置

■ 画像の配置については以下のどちらかの方法でおこなってください。

① 埋め込み配置 ※画像点数が少ないペラもの、折りパンフレットなどに最適

心配な方はなるべく埋め込み配置をお勧めします。

リンク配置後に埋め込む場合は、リンクパレットの画像を全て選択→画像を埋め込み。

ファイルサイズが大きくなりますが圧縮して約200MB以内であれば問題ありません。

それ以上になると送信に時間がかかりますのでリンク配置をお勧めします。

※PSDデータを埋め込む場合は、リンクパレット→画像を埋め込み→Photoshop読み込みオプション
→複数のPhotoshopレイヤーを1つの画像に統合を選択してください。

② リンク配置 ※ページ数が多く、画像の点数も多い冊子ものなどに最適

画像のリンク切れを防止するために、イラストレーターのレイアウトデータと同じフォルダ(ご入稿用のフォルダ)にレイアウト上でリンクされた(使用している)画像をすべて入れてご入稿下さい。

また、配置する画像はEPSまたはPSD形式で保存してください。

保存時の仕様については下記を参照ください。

EPS保存の場合

Photoshopの「ファイル」メニュー→別名で保存

ファイル形式→「EPS」を選択します。

カラープロファイルの埋め込みのチェックははずしてください。

<プレビュー> Windowsの場合：TIFF(8bit/pixel)

Macintoshの場合：Macintosh(8bit/pixel)

<エンコーディング> EPS形式(エンコーディング：バイナリまたはJPG最高画質)

PSD保存の場合

レイヤーパレットのオプションメニューから「画像を統合」を選択し、背景レイヤーのみにしてください。

Photoshopの「ファイル」メニュー→別名で保存→ファイル形式→「PSD」を選択します。

カラープロファイルの埋め込みのチェックははずしてください。

※画像のカラーモードは、カラーで印刷される場合は、CMYKカラーまたはグレースケール(モノクロ二階調も含む)で保存した画像を貼り込んでください。

※解像度は300～350dpi程度で作成し、画像の品質を最適化するために、配置後にIllustrator上で拡大しないでください。
拡大すると、画像の品質が劣化します。

透明効果の設定

■ 透明効果(効果メニューの他の機能を含む)を使用している場合は以下の設定をおこなってください。

① [ドキュメントのラスタライズ効果設定]の解像度の指定

「効果」メニュー→ラスタライズ効果設定(ラスター効果設定)→
「カラーモード:CMYK」、「解像度:高解像度(300dpi)」を選択。

② 透明の分割・統合の設定

Illustrator CS

1.「ファイル」メニュー→ドキュメント設定→「透明」→プリセット:中解像度、カスタムでスライダを一番右に設定(他はそのまま)

Illustrator 9・10

1.「ファイル」メニュー→ドキュメント設定→「透明」→スライダを一番右に設定

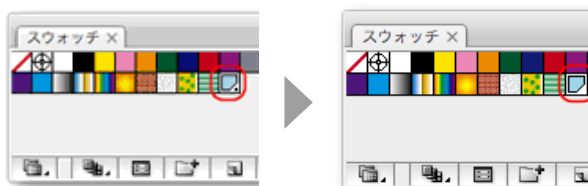
カラーモードの設定

■ データのカラーモードはCMYKモードで作成してください。

※特色等は使用せず、プロセスカラーで作成してください。

ドキュメント内に特色があるとき、スウォッチの右下に点が表示されます。
以下の手順で特色をプロセスカラーに変換してください。

特色のスウォッチを選択して、
スウォッチパレットの「オプションメニュー」→「スウォッチオプション」を開きます。
まず、「カラーモード」で「CMYK」を選択します。
次に「カラータイプ」を「特色」から「プロセスカラー」に変更してください。
「プロセスカラー」に変換されると、右下の点が表示されなくなります。



出力見本の作成

■ ご入稿の際には、データの出力見本を以下の方法で作成し添付してください。

ファイルメニュー→データ書き出し→
JPG形式(RGBモード/画質:10/解像度:中/オプション:アンチエイリアス)